

全建発第30～149号
平成30年 8月10日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会 長 大 石 久 和

印省略

第646回建設技術講習会（公共工事の品質確保と入札契約の適正化） の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第646回建設技術講習会では、品確法に基づく発注関係事務の適切な運用に向けた取り組み事例、技術提案・交渉方式や地域維持型契約方式など、多様な入札契約方式等の最新の取り組み事例、調査・設計・施工・維持管理段階における品質確保の取り組みに、民間資格の登録制度、i-Constructionの取り組み、担い手の育成・確保に向けた取り組みなどについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
印省略

第646回建設技術講習会（公共工事の品質確保と入札契約の適正化）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年10月10日（水）～12日（金）、和歌山市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、品質法に基づく発注関係事務の適切な運用に向けた取り組み事例、技術提案・交渉方式や地域維持型契約方式など、多様な入札契約方式等の最新の取り組み事例、調査・設計・施工・維持管理段階における品質確保の取り組みについて、民間資格の登録制度、i-Constructionの取り組み、担い手の育成・確保に向けた取り組みについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は和歌山県・和歌山市の共催（予定）、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
和歌山県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
和歌山県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
近畿地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格（2,000円）で参加の場合、取り消しはできません。

③現 場 研 修 料：7,800円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等はご遠慮願います。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「646」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申 込 締 切 日：平成30年9月21日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年9月28日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年10月5日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD（継続教育）制度」及び「CPDS（予定）」の認定講習会です。

【聴講／現場】全建：8単位／2.5単位、CPDS：（未定）

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第646回建設技術講習会（公共工事の品質確保と入札契約の適正化）日程
～品確法に基づく発注関係事務の適切な運用に向けた取り組みと
多様な発注方式の活用等の最新の取り組み事例を学ぶ～

- ・品確法に基づく発注関係事務の適切な運用に向けた取り組み事例について
- ・技術提案・交渉方式や地域維持型契約方式など、多様な入札契約方式等の最新の取り組み事例について
- ・調査・設計・施工・維持管理段階における品質確保の取り組みについて、民間資格の登録制度について
- ・i-Constructionの取り組みについて
- ・担い手の育成・確保に向けた取り組み

会場 …… 和歌山市民会館（小ホール）
〒640-8204 和歌山市伝法橋南ノ丁7 TEL073-432-1212(代)

(1日目) 開場11:40		平成30年10月10日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	和歌山県知事 和歌山市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	仁坂吉伸 尾花正啓 秋山幸男	
13:00 }	公共事業の品質確保の取り組みについて	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術調整室 室長	和田卓	
14:10 }	公共工事における多様な入札契約方式について	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術調整室 課長補佐	鈴置真央	
15:20 }	【地域事業の紹介①】 和歌山南スマートインターチェンジの事業概要について	西日本高速道路(株) 関西支社 和歌山工事事務所工務課 課長	土橋正文	
15:50 }	【地域事業の紹介②】 和歌山下津港海岸 海岸保全施設整備事業について	国土交通省近畿地方整備局 和歌山港湾事務所海岸課 課長	辻村幸弘	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (18:00～19:30(予定))		ホテルアバローム紀の国 1階 「ガーデンテラスリーフ」 TEL073-436-3010		
(2日目) 開場 9:00		10月11日(木)		(敬称略)
9:40 }	公共工事調達方式の今後のあり方について	日本大学危機管理学部危機管理学科 教授	木下誠也	
10:50 }	監督・検査の現状と新たな品質確保の取り組みについて	国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官	矢作智之	
13:00 }	【地元自治体の取り組み】 和歌山県における南海トラフ地震への取り組みについて	和歌山県総務部危機管理局防災企画課 副課長	中村吉良	
14:10 }	建設業の働き方改革と生産性の向上について	国土交通省大臣官房技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官	手塚寛之	
15:20 }	受注者から見た建設生産システムの課題について	(一社)全国建設業協会 技術顧問	牧角修	
16:20 }	閉会のあいさつ	和歌山県建設技術協会会長 (和歌山県県土整備部 技監)	庄司勝	
(3日目) 集合 8:15～		10月12日(金)		【現場研修】

和歌山城バス専用駐車場（8:45）出発

- 和歌山下津港海岸 海岸保全施設整備事業（下車説明） → 二級河川江川災害復旧助成事業（下車説明）
- 昼食（和歌山市内）→ 和歌山南スマートインターチェンジ（下車説明）
- JR和歌山駅（15:10）／南海和歌山市駅（15:20）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

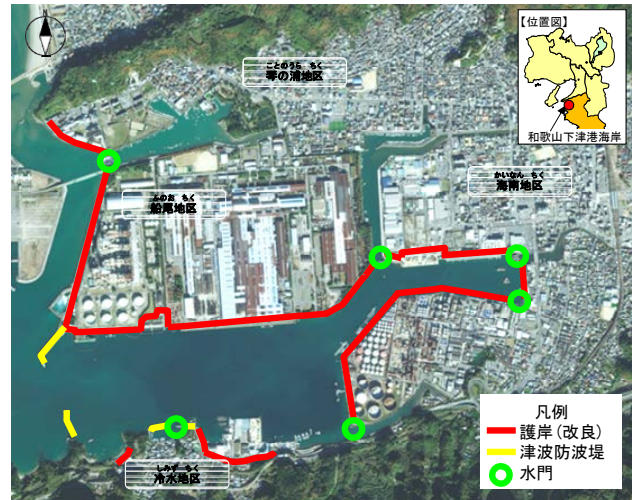
全建CPD（継続教育）制度・CPDS（予定）認定プログラム 【聴講／現場】全建：8単位／2.5単位、CPDS：（未定）

第646回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 和歌山下津港海岸 海岸保全施設整備事業

- 和歌山下津港は昭和40年4月に特定重要港湾として指定され、これまで地域の発展に多大なる貢献を果たしてきた
- 和歌山下津港海岸は、今後30年以内に70～80%程度の確率で南海トラフで発生する地震に伴う津波の襲来が予測されている
- 海南地区には、行政・防災関係機関や主要交通施設、世界的なシェアを誇る産業が集積している
- 本事業により、津波浸水被害の軽減を図る

…………… 海南市・和歌山市（海南地区）



2. 二級河川江川災害復旧助成事業

- 平成27年の台風11号により堤防や護岸が複数箇所で決壊
- 床下浸水11戸、農地40haが浸水する被害が発生
- 原形復旧する災害復旧事業では、事業効果が限定されることから、改良復旧事業を実施
- 河川整備計画流量とほぼ同じである被災流量を安全に流下させ、再度の災害を防止
- 事業延長は約4.9km、事業期間は平成27年度～平成31年度

…………… 和歌山県日高川町和佐～江川



3. （仮称）和歌山南スマートインターチェンジ整備事業

…………… 和歌山市森小手穂

- 阪和自動車道（仮称）和歌山南スマートインターチェンジを和歌山県と西日本高速道路株式会社が整備
- 和歌山県が「高規格幹線道路インターチェンジアクセス道路の個別補助制度」によりアクセス道路を整備し、新たな幹線道路ネットワークを形成
- 当スマートインターチェンジが整備されることにより、高速道路利用者の利便性の向上はもとより、観光や産業の振興による地域の活性化や、災害時における防災機能の強化などの効果が期待
- 形式は、本線直結型のフルインターチェンジ、24時間通行、ETC搭載全車種対応・接続道路は、県道和歌山橋本線（都市計画道路南港山東線）
- 平成30年度末完成予定



完成予想図

第646回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には和歌山市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15（JFAハウス5階）「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前（前日）		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年10月9日(火)、10日(水)、11日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ダイワロイネット和歌山 和歌山市七番丁26-1 TEL073-435-0055	シングル	40名	9,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第 6 4 6 回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



（一社）全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 平成30年10月10日（水）18：00～19：30（予定）
（第646回建設技術講習会 1日目講義終了後）

場所： ホテルアバローム紀の国 1階
「ガーデンテラスリーフ」
会費： 2,000円（講習会受付時に徴収）

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ・ 日本大学危機管理学部危機管理学科 教授 | 木下 誠也 講師 |
| ・ 国土交通省大臣官房技術調査課建設技術調整室 室長 | 和田 卓 講師 |
| ・ 国土交通省大臣官房技術調査課建設技術調整室 課長補佐 | 鈴置 真央 講師 |
| ・ 国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官 | 矢作 智之 講師 |
| ・ 国土交通省大臣官房技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官 | 手塚 寛之 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める（名刺交換）
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し（予定）
※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



（一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。